

鯨城ニュース

第 22 号

平成24年6月発行

ホームページアドレス <http://www.kojoyokai.net/>

平成 24 年度のスタートに向けて

名古屋市高年大学鯉城学園 副学長 松 浦 滋

鯉城会会員の皆さまには、日頃から鯉城学園に温かいご支援を賜りありがとうございます。
昨年 10 月、名古屋市の行政評価において「廃止」判定を受け、鯉城学園在學生と鯉城会の皆さまの
精力的な学園存続・継続に向けての署名・請願活動のお蔭を持ちまして 27 期生の入学募集も可能と
なり、今年度の入学式で 27 期生 568 名を迎え、スタートすることができました。

今回の外部評価で、卒業後の地域活動のあり方、一部の高齢者だけが恩恵を受けている、民間のカル
チャーセンターとの違い、人件費などについての指摘がありました。

鯉城学園は、学園設立以来「高齢者の生きがいづくりと地域活動の核となる人材養成」という設立
趣旨に基づいて運営してまいりました。民間のカルチャーセンターとの明らかな違いは、単なる講座
受講のみならず、学生会の諸活動を各クラス単位で相互・連帯して取り組むことにより、組織運営を
体験し、友情を深め、達成感や感動を共有するところにあります。また、クラブ活動を通じて、エネ
ルギー発揮の場を得て、生き生きとした充実感を体感し、さらに学園生活全体を通じて、健康の保持
増進により元気を獲得し、医療費削減も果たしていると信じています。校外活動にも積極的に参加し、
地域への経済効果も充分に貢献しています。今年度より新しいプログラム「地域ミーティング」を実
施し、卒業後の地域活動にスムーズに参加できる体制づくりを、区鯉城会の皆さまと区社会福祉協議
会との連携を図りつつ、ぜひ成功させたいと願っております。

名古屋市議会財政福祉委員会で「名古屋市高年大学鯉城学園の存続へ向けた請願採択」を受け、名
古屋市健康福祉局において「名古屋市社会福祉審議会専門分科会（今後の高齢者の生きがい施策のあ
り方検討分科会）」を設置し、高年大学鯉城学園の存続などについて検討されることになりました。
これに向け、鯉城学園の指定管理者である名古屋市社会福祉協議会が「高年大学鯉城学園のあり方検
討委員会」を設置し、今回の行政評価の判定を踏まえ、学園存続・継続に向けた今後のあり方を検討
する運びとなっております。

この 1 年が勝負の年であると心して、学園運営に取り組んでまいります。絶大なるご支援を賜りま
すよう心よりお願い申し上げます。

鯉城学園ニュース

- | | | | | |
|---|----------|---|-----------|--|
| 1 | 人事異動 | 退職 事務長 川本 美幸
新任 事務長 渡邊 文邦 | 10/5 (金) | 「高齢者の食事を考える」
NPO 法人 LET'S 食の絆
理事長 五十嵐 桂葉 氏 |
| 2 | 行事予定 | | | |
| | 体育祭 | 9/26 (水) 中村スポーツセンター | 11/28 (水) | 「健康な社会のパートナーとして」 |
| | 修学旅行 | 10/15 (月)～10/19 (金) | | 医療法人財団愛泉会 |
| | 文化祭 | 11/15 (木)～11/17 (土) | | 理事長 川原 啓美 氏 |
| 3 | 公開講座 | | 25 年 | |
| | 6/20 (水) | 「マイナスをプラスに変える
おしゃれ」
名古屋デザイン専門学校
校長 井後 治子 氏 | 2/22 (金) | 「アイルランド・ケント音楽への誘い」
アイリッシュハープ奏者
フォレスト梨沙 氏 |

目次

表紙 瑞穂公園・山崎川の桜と陸上競技場	1
副学長挨拶／鯉城学園ニュース	2
平成 24 年度鯉城会活動計画	3
平成 23 年度名古屋市高年大学鯉城会決算書	4
平成 24 年度名古屋市高年大学鯉城会収支予算書	5
新役員紹介と活動目標	6
鯉城学園の存続活動報告とこれからのについて	7
区会会長兼区会代議員・鯉城会役員・監事・幹事各名簿	8
各区鯉城会行事活動状況	9～16
平成 24 年度各区会展示会予定について	17
学生協議会ニュース	17
学園生活 2 年目を迎えて	18～20
第 7 回グラウンド・ゴルフ交歓会成績表	21
第 2 回「こころの絆創膏配布キャンペーン」	21
第 25 回公開講演会を開催して	22
表紙説明・計報・編集後記	23
裏表紙 第 26 回公開講演会のお知らせ	24

平成 24 年度 鯉城会活動計画

鯉城会会長 寺田 耕一郎



この4月より鯉城会会長に就任いたしました寺田でございます。微力ではありますが鯉城会発展のため全力を尽くす所存であります。鯉城会の皆様には日頃から格別のご理解ご協力を賜り厚くお礼申しあげます。平成24年度も多数の会員をお迎えし、心強く思うと共に心より歓迎申しあげます。

さて、私は24年度活動計画策定にあたりましては、次のような考えの基に立案いたしました。すなわち、23年度の活動計画を堅持しつつ、次の二点について特に意を注いでまいります。

第一は、鯉城学園存続のため有効と考えられる施策への取り組みであります。ご承知のとおり、われらの母校鯉城学園は、その存続が問われています。それは取も直さず鯉城会の存在基盤にかかわることです。学園、鯉城会のこれまでの果たしてきた役割、功績を直視したとき座して静観は許されません。改革の時代を踏まえ自らを律し、叡智を結集、一致団結して存続運動を強力に推進してまいります。

第二は、広報の強化であります。鯉城会、区会の活動を概観するに、その内容は広範多岐にわたり、積極的に活動しています。しかしながら、事業仕分けにおいても痛感いたしました。この活動が広く市民に十分理解されていないことを悔しがり、忸怩たる思いをしたわけです。従いまして、関係機関とも相談してお知恵を拝借、効果的広報活動に努めたいと考えます。24年度は歴史的に重要な年になると、想定されますので、会員の皆様の一層のご理解ご協力をお願い申し上げます。

「24年度運営のモットー」

☆地域活動を積極的に展開すると共に活動内容、成果を広く市民に広報する☆

「24年度運営方針」

- 1 学園設立の趣旨を再確認し、存続に向けた活動を展開する
- 2 鯉城会の活動内容、成果を広く市民に訴え理解を得るべく広報活動をする
- 3 会員から喜ばれる鯉城会・地域から評価される鯉城会・深い絆で結ばれる鯉城会・存在感のある鯉城会を目指す
- 4 各事業計画は会員ニーズ・社会変化を取り入れ、より充実した内容で実施する
- 5 各区会との連携を強化、諸活動への参加者増をめざす
- 6 社会福祉協議会と定期的会合の場を設け、その趣旨に基づき積極的に活動する
- 7 各区会とミーティングに積極的に参加し、協力して実効あるものとする

「24年度事業計画」

- 1 鯉城ニュース、年2回発行
- 2 鯉城会ホームページの内容を充実し情報伝達の迅速化を図る
- 3 公開講演会、年2回開催
- 4 鯉城OB文化祭、年1回開催
- 5 鯉城会・区会・学園・学生会が一体で社会奉仕活動の実施
- 6 クリーンキャンペーン（鶴舞公園・堀川）実施
- 7 図書室運営ボランティアグループの管理
- 8 区会社会奉仕活動連絡協議会の開催
- 9 グラウンド・ゴルフ交歓会、年2回開催
- 10 その他の事項の取り組み
 - ・在校生の各区会行事等への参加促進を学園と連絡調整
 - ・地域ミーティング、年3回実施（1年次2回、2年次1回）要請により随時出席

平成 23 年度名古屋市高年大学鯉城会決算書

1. 貸借対照表 (平成 24 年 3 月 31 日現在) (単位：円)

勘定科目	金額	勘定科目	金額
現金	59,504	次年度 入会金	439,000
銀行普通預金	2,364,268	次年度以降会誌会費	0
		預り金	
		区会入会金	878,000
		正味財産	1,106,772
		(今年度 74,507円減)	
合計	2,423,772	合計	2,423,772

2. 収支報告書 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日) (単位：円)

勘定科目		予算額	決算額	差額	摘要
収入の部	入会金	454,000	456,000	2,000	456名
	年会費	700,000	692,600	-7,400	3463名
	会誌会費	147,800	147,800	0	739名
	助成金	342,000	342,000	0	
	雑収入	3,000	315	-2,685	
	合計	1,646,800	1,638,715	-8,085	
支出の部	事務費	150,000	168,816	-18,816	事務用品 印刷用インクなど
	広報費	930,000	937,540	-7,540	会誌2回発行 HP管理費
	行事費	300,000	301,565	-1,565	公開講演会2回 OB文化祭
	社会奉仕活動費	100,000	43,180	56,820	
	区会活動費	300,000	262,121	37,879	グラウンド・ゴルフ助成金他
	合計	1,780,000	1,713,222	66,778	

上記のとおり報告いたします。

平成 24 年 3 月 31 日
 会長 日比野 勝
 会計委員長 池田 正子

会計監査報告書

会計帳簿等を調査の結果、適正に執行されていることを認めます。

平成 24 年 4 月 2 日
 監査委員 高橋 精二
 監査委員 西村 陽子

平成 24 年度名古屋市高年大学鯉城会収支予算書

(平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

(単位：円)

科 目	予 算	摘 要	前年度実績
【収入の部】			
前期繰越金	1,106,972		1,181,279
入 会 金	439,000	25 期生 439 名×1,000 円	456,000
年 会 費	1,035,000	3,450 名×300 円	692,600
会 誌 会 費	0		147,800
助 成 金	342,000	学園より助成金	342,000
雑 収 入	500	預金利息他	315
当期収入計	1,816,500	預金利息他	1,638,715
収入の部合計	2,923,472		2,819,994
【支出の部】			
事 務 費	200,000	通信費・文具・印刷機インク他	168,816
会 誌 作 成 費	637,000	会誌 2 回発行 9,800 部 (一部 65 円) 他	766,040
会 誌 発 送 費	0	会誌会員 23 年度終了	105,920
H P 管 理 費	150,000	パソコン維持費・研修会他	65,580
行 事 費	300,000	講演会 2 回・OB 文化祭 1 回開催費他	301,565
社会奉仕活動費	150,000	鯉城会主催クリーンキャンペーン他	43,180
区 会 活 動 費	200,000	グラウンド・ゴルフ開催費他	262,121
当期支出計	1,637,000		1,713,222
学園 30 周年 記念事業準備金	1,000,000	平成 27 年度記念事業	
次 期 繰 越 金	286,472		1,106,772
支出の部合計	2,923,472		2,819,994

新役員紹介と活動目標

「チームワークで楽しく活動」

副会長 若松 百合子

このたび副会長を務めることになりました中川鯨城会（23期・生活B）若松百合子です。「鯨城会へ行って何をやるの？」何も分からないまま安易な気持ちで参加しましたが、鯨城学園と区鯨城会の諸活動が円滑に運営できるためのパイプ役だと知り責任の重さを自覚した次第です。

今年度は、新たに存続問題の関連で「地域ミーティング」が実施されることになり、これまで以上に鯨城学園、区鯨城会、鯨城会の連携を強化する必要が望まれます。初めての試みでもあり難しい問題も山積みですが、寺田会長のご指導のもと一致団結と抜群のチームワークで明るく楽しい活動の場を目指して頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

「地域活動」

副会長 田畑 忠良

24年度副会長に任命されました。千種鯨城会（24期・環境）の田畑忠良です。

諸先輩が築いてこられた伝統と実績を受けつぎ、地域活動を推進するには、鯨城会会員の皆さんの一人、ひとりのお力を、お借りしたいと思います。

地域、コミュニティの一員として、つながりを大事にし、地域活動に参加しやすいような環境づくりをするべきことと、誰もが自分らしく生き、心豊かに暮らしていける、そんな地域づくりを目指したいとおもいます。

「総務委員長に就任して」

総務委員長 堀場 慶夫

昨年中村鯨城会より幹事として送り出され、早いもので一年経過しました。

総務の職務としては、会員情報の把握、会場の設営、各委員会の会議資料を正確に配布する。そして議事録を作成する事です。

前委員長より総務は縁の下の力持ち的存在だと聞かされていましたが、総務としての職務に流されることなく創意工夫を以て的確に事に当たり、各委員会より信頼される総務を目指し、明るく活気ある総務を築き上げていきたいと考えています。

24年度鯨城会主催の行事については、各委員会との連携を密にし、サポートして行く所存ですので宜しくお願いします。

「情報をきめ細かく、より早く」

行事委員長 西 蒨

24年度鯨城会行事を担当することになりましたので、よろしくお願い致します。昨年度から引き継ぐ行事として7月5日（木）公開講演会、12月6日（木）公開講演会、3月14日（木）OB文化祭があります。

会員の皆様方には開催日に是非とも鯨城学園五階ホールまで足をお運び下さる様お願い致します。計

画されている行事については会員の皆様にご迷惑をお掛けしない様努力して行きたいと思っております。

ただ残念なことに、鯨城会（各区鯨城会ではなく本部のこと）の行事については会員の皆様のほとんどの方が無関心なので、だから今こそ「鯨城会のあり方」「鯨城会は何をすべきか」について検討して行かなければならないと考えます。

「社会奉仕活動委員会の活動」

社会奉仕活動委員長 高橋 修身

本年度は、次のとおりボランティア活動等を実施しますので、積極的に参加願います。

1 ボランティア活動

- (1) 6月2日（土）名古屋市一斉クリーンキャンペーン（各区対応）
- (2) 6月1日～29日 名古屋市“こころの絆創膏キャンペーン”
- (3) 7月14日（土）堀川清掃大作戦（鯨城・堀川と生活を考える会と共催）
- (4) 10月6日（土）鯨城会クリーンキャンペーン（鶴舞公園）
- (5) 年間…図書室ボランティアの運営管理

2 社会奉仕活動委員会の開催 年3回開催

- ・5月28日（月）10：00 8階第2講義室
- ・9月20日（木）13：00 8階第2講義室
- ・2月18日（月）10：00 8階第2講義室

「区会活動委員長に就任して」

区会活動委員長 原田 浩治

平成24年度の区会活動委員長を仰せつかりました、東鯨城会所属の原田でございます。

鯨城会グラウンド・ゴルフ交歓会への参加者は年々増えてきていますが、青空の下で存分にプレーを楽しんで頂けるよう、今年度も第8回大会（9月24日）、第9回大会（25年3月25日）を開催する計画であります。

また、我々鯨城学園卒業生に期待される地域活動をより一層盛り上げるべく、各区会との密接な連携を図りながら、来春卒業の26期生が1人でも多く各区会へ加入されるよう積極的な働きかけを行っていきたいと考えております。

「平成24年度 広報委員会 活動方針」

広報委員長 佐藤 幸男

・活動方針

「鯨城ニュース」と「ホームページ」の充実とPR

- 鯨城会・会員相互のつながりをより強くするため、各区の行事予定やボランティア等、活動の情報や話題を年2回（6月・11月）「鯨城ニュース」として発刊する。
- ホームページは、今年度各区の選出されたホームページ作成委員の協力を得て、各区の行事と活動の内容等情報をきめ細かく伝える事ができるよう推進してまいります。

「名古屋市高年大学鯉城学園の存続活動報告とこれからについて」

前鯉城会会長 日比野 勝

鯉城会会長として22年度23年度の2年間楽しく活動できましたことに感謝申し上げます。2年間色々なことにチャレンジし会員皆様方に賛成・反対があり前進しながら、又、後退ではありましたが、基本的には会員が楽しく鯉城会に参加できればと考えてきました。代議員・役員・幹事の皆様の協力のおかげと感謝感謝です。

23年10月23日の名古屋市行政評価（外部評価）で名古屋市高年大学は廃止9名、見直し8名で廃止となりました。

鯉城会は10月31日に名古屋市高年大学鯉城学園の存続を求める嘆願書を市議会議長他提出。その後学生協議会と連携し署名活動を展開。その間に市議会各会派代表を訪問し鯉城学園存続要請、各会派とも存続との見解でした。

11月22日河村市長（学園長）に学生会役員と面談、存続要請するが、一般市民（外部評価）の意見は尊重し、民間での運営、税金の公平化、減税の話題で終わる。

存続を求める請願書を11月28日、市議会議長に請願署名簿（22,558名）を提出。その後631名分署名簿追加提出。

24年1月23日市議会財政福祉委員会で口頭陳述、同委員会で存続請願は賛成で採択されました。

その後の学園の扱いは市の社会福祉審議会の委員3名と有識者3名と市民委員（公募）3名の9名で「今後の高齢者の生きがい施策のあり方検討委員会」設置。第1回会議は4月23日より開催、10月をめどに審議されます、同委員会では敬老パス交付・休養温泉ホーム松ヶ島も検討、25年10月頃まで設置。

又、学園も「高年大学鯉城学園のあり方検討委員会」を設置します。委員に鯉城会寺田会長と学生協議会山中会長も委員として参加、学識経験者6名・老人クラブ代表1名の合計9名、本年10月まで設置。

（検討事項）

1. 講座、学生活動、クラブ活動及び行事等のあり方に関する事
2. 適正学生は、入学者の選抜方法及び利用者負担額のあり方に関する事
3. 鯉城会等卒業生組織による地域活動促進のあり方に関する事

4. 職員の役割、勤務条件及び採用に関する事
5. その他、行政評価で議論となった事項

以上が市役所と鯉城学園の今後の展開です。鯉城会寺田会長が委員会に参加しますのでタイムリーに鯉城会（役員会）で検討され、又学生協議会と連携しながら存続活動を展開されるでしょう、今後を期待します。

ここからは私見です。

学園の設立趣旨、「高齢者の生きがいづくりと、地域活動の核となる人材の養成を目的として設立されています」

2年間の学園生活は地域活動の核となる学習は無く、クラス活動とクラブ活動で仲間との絆づくりでした。是非2年間のカリキュラムに地域活動の理論と実践を組み込んで講座の改革をして、卒業後を考えるヒントを提供する。

又、卒業後もクラス・クラブの絆が強く、その仲間での施設慰問等も鯉城会会員活動と考え活発な地域貢献活動を実践している。鯉城会でまとめ整理して発表する。鯉城会で活躍できるのも3年間から5年間と考える、平均年齢が68歳で入学し70歳で卒業。75歳からは自分の好きな事、又、仲間との時間を大切に過ごす。各区鯉城会の地域活動は今まで通りボランティアの継続と地元町内会での活躍で良いと思います。地域は役員不足を嘆いています、是非積極的に手を上げて地域活動に協力をしましょう。

学園民営化も選択の1つとして考え、視野にいられて色々な機関の情報収集していく必要があると思います。NPO、大学等を調査し事前準備をしておくことも必要と思います。

河村市長が税の公平公正発言については、これから入学する後輩に学費増額は言いたくありません、今の高齢者は恵まれています、これからの高齢者はバラ色では無く厳しい環境と思います、学園生活2年間と卒業後の地域貢献活動を重点的に考える事が大切だと思います。

名古屋市高年大学鯉城学園をこれからも、高齢者が楽しく仲間づくりと生きがいづくりが出来る学園として、存続活動をしていきましょう。

平成18年4月入学以来、6年間学生会及び鯉城会でお世話になりました、これからも会員として協力して参ります。誠にありがとうございました。以上

24 年度区会会長兼区会代議員名簿

区 会 名	期・学科	氏 名
千種鯪城会	22・生活 A	桧山 邦夫
東鯪城会	23・陶芸	服部 好伯
北鯪城会	23・園芸	秋田 輝長
西こじょう会	21・文化 A	香山 敏広
中村鯪城会	23・環境	山田 公定
中鯪城会	23・文化 B	樋口 勝利
昭和鯪城会	24・環境	黒岩 一夫
瑞穂鯪城会	24・国際	鈴木 省吾

区 会 名	期・学科	氏 名
熱田鯪城会	23・陶芸	高橋 晃二
中川鯪城会	23・文化 A	荒川 武光
港鯪城会	24・環境	佐藤 隆之
南鯪城会	23・美術	二村 洋治
守山鯪城会	23・環境	浅井 保司
緑鯪城会	23・地域	小玉 正氣
名東鯪友会	23・生活 A	小島 武
天白こじょう会	24・美術	豊田 悦造

24 年度鯪城会役員・監事名簿

役 職	期・学科	氏 名	区会
会長	23・地域	寺田耕一郎	瑞穂
副会長	23・生活 B	若松百合子	中川
副会長	24・環境	田畑 忠良	千種
総務委員長	24・環境	堀場 慶夫	中村
会計委員長	24・地域	林 美也子	瑞穂

役 職	期・学科	氏 名	区会
広報委員長	24・文化 A	佐藤 幸男	昭和
行事委員長	23・園芸	西 蒨	緑
社会奉仕活動委員長	23・福祉	高橋 修身	北
区会活動委員長	22・地域	原田 浩治	東
監事	21・地域	日比野 勝	昭和
監事	23・生活 A	池田 正子	中村

24 年度鯪城会幹事名簿

所属部署	期・学科	氏 名	区会
総務委員	22・健康	村田 勝彦	熱田
〃	25・美術	福島 健治	南
〃	25・文化 A	河合世輝代	中村
会計委員(総務)	25・健康	渡辺 京子	天白
広報委員	23・環境	阿比留志づ子	中
〃	24・文化 B	高野 義英	名東
〃	24・地域	森山 宣征	天白
〃	24・園芸	深尾 芳彦	北
〃	24・生活 B	岩井海南子	港
〃	25・国際	梅田 国清	中
行事委員	24・園芸	白井 博	守山
〃	24・生活 A	柘植 鐘二	緑

所属部署	期・学科	氏 名	区会
行事委員	24・園芸	山崎 廣徳	中川
〃	25・文化 B	館 敏也	昭和
〃	25・陶芸	山本 智	守山
社会奉仕活動委員	23・生活 B	湯浅美祢子	南
〃	24・国際	稲田 萬吉	東
〃	24・文化 A	小畑 昌子	熱田
〃	25・園芸	水野 修一	瑞穂
区会活動委員	22・福祉	水野 信子	西
〃	23・生活 A	水野 切美	港
〃	25・文化 A	森川 利貞	千種
〃	25・文化 B	千田 銕三	西
〃	25・生活 A	栗木 一	名東

各区鯨城会行事活動状況

－千種区－ 花水木鯨城会

「より良い区会を目指して」

会長 桧山 邦夫

桜の花が舞う 4月13日（金）に定時総会を開催。37名の新入会員をお迎えし、会員290名の組織にて、24年度をスタートいたしました。

当会の区会活動は年々拡充の一途をたどっております。このことは諸先輩が築いてこられた結果であり、伝統を大切に受け継ぎ、時代のニーズに対応し、更なる飛躍を目指してより良い区会にしていきたいと思っております。

昨年はデイサービス介護支援や清掃・美化活動など社会奉仕活動に延べ1000名を越える参加者があり、各種行事も盛況で「趣味の作品展」には延べ750名のご来場をいただきました。今年度もデイサービス介護支援や茶屋ヶ坂公園の清掃活動はもちろん子育てサロン支援の一環で

クリスマス時期のサンタクロースのお手伝いやカフェサロンの運営なども計画し、行事関係では日帰りバス旅行、「趣味の作品展」の開催を予定しております。

さらに今年度から、会員相互の交流と親睦を図り、会がより活性化する目的で中学校学区単位で地域活動する組織の「地域会」を発足するので体制を早期に確立し、「明るく・元気で・楽しい花水木鯨城会」をモットーに地域社会に貢献出来るように努め、新しい交流の場が繋がることを願っております。

各区会がお互いに努力し、会を盛り上げることにより、自ずと鯨城会の存在感が出てくることでしょう。みなさんががんばりましょう。

(22期・生活A)

－東 区－ 東鯨城会

皆が参加したくなる魅力ある区会活動をめざして

会長 服部 好伯

東鯨城会は4月14日に平成24年度の定期総会を行い、19名の新入会員を迎えて、136名という体制で今年度の活動を開始しました。しかし、一方で18名の退会者があり、全体では1名増と、会の発展という意味からは、近年にない厳しいものとなりました。退会の理由は本人や家族の健康上の理由等も多いが、一方で、この1年間、区会行事に一度も参加しなかったから、という理由で退会する方もあり、区会活動に魅力が乏しいのか、あるいは執行部の働きかけが不十分であったためではなかろうかと心配しております。

また、今年卒業の東区在住生は27名であったが、この内、区会に入会されたのは19名と、例年90%前後の入会率であるのに比して大変低い入会率であったことも会員数停滞の原因となっております。何も会員数を増やすことだけが目的ではありませんが、活動の幅を広げ、会の活力を保っていくためには必要なことでもあります。

こうしたことから、会員に対しては興味を持てる行事の充実を図り、また、お互いに声を掛け合って、各種の行事やボランティア活動に参加しやすい体制を強化していくこと、また、在学生に対しては、早い時期から区会を通しての地域参加の意義を伝え、理解頂くことが必要であると思っております。

その意味からは、学園で本年度より始まった地域ミーティングは、単なる仕分け対策に留まらず、誠に当を得たものと言え、東鯨城会としても積極的に取り組んでまいります。

今季もボランティア活動や会員間の親睦を深めるための各種行事を予定しておりますが、今年度が終わった時に、これらの区会活動に全く参加しなかった、というような会員が一人もいないよう、魅力ある活動、楽しく気楽に参加できる活動をめざして、執行部一同力を合わせてやってまいります。(23期・陶芸)

孤独死を考える

会長 秋田 輝長

今年度は会員 297 名で北鯨城丸は出航した。北鯨城会には楽しい行事が色々ある。この行事のお陰で会の団結力が高まっている。今年度も会員が楽しみ、生きがいを感じてもらうとともに、会員相互の結束を強めるために下記の行事を行う予定である。

①観桜会（188 名参加） ②夏季・秋季レクリエーション ③グラウンド・ゴルフ大会 ④忘年会 ⑤3 回の作品展等

このような楽しい行事をしている中で、思いもよらないことが起こった。市の事業仕分けで廃止の判定を受けた。大変なことである。それほど我々のやっていることに対する市民の評価が低かったということだ。鯨城会の会員だけで楽しんでいたので反省させられた。

一年に 1 億円以上の税金が使われていた。地域住民の方々にお返しをしなければならない。地域環境整備のために右記のようにやっていたし、今年度も行うつもりである。

①名城公園広場及び周辺清掃 ②名城公園アサガオ塔水遣り・除草・植栽 ③2 回のクリーンキャンペーン参加 ④北区民まつりボランティア参加 ⑤古切手の寄贈等

しかし、積極的に住民の方に接触することはなかった。特に、最も弱い独居老人に声を掛けることはなかった。我々会員も伴侶が亡くなり一人になるのはもうすぐである。このことも考え、地域の独居老人に声を掛けて健康を気遣うことをしていきたい。歩くことができるならば、作品展に来ていただいたり、清掃にも参加していただけるよう声を掛けていき、北区からは孤独死が一人も出ないようにしていきたい。

独居老人の把握をするためにも区の社会福祉協議会との話し合いは大切である。独居老人の方で接触を拒否する人も教えていただきながら慎重に行動していきたい。このような行動をしていくことで「廃止」の声はなくなっていくと確信している。（23 期・園芸）

「頑張ろう 元気 笑顔の 西こじょう会」

会長 香山 敏広

標記のスローガンの下 25 期の会員 32 名の入会を得て会員数 245 名となりました。平成 23 年 4 月 16 日の総会には約 80 名の会員が出席して 24 年度活動がスタートしました。昨年は行事委員長として毎月行事を開催し事故、トラブルも無く無事に幹事の大役を果たし、久しぶりにゆっくり出来るかな、と考えていたが、事もあろうか会長という大役がきてしまいました。

春、秋 2 回の日帰りバス旅行と、誰もが参加でき魅力ある行事を行い多数の会員皆さんが参加をされ、終了後は必ず懇親食事会を開催し会員相互の心を開いた情報交換が出来るようになりました。先日伊藤前会長から西こじょう会の貴重な資料を預かりました。第一回以来のこじょう会開催の記録です。

平成 3 年 3 月 25 日天神山福祉会館にて開催され参加者 33 名、先輩方の発足当時のご苦労がその後 23 年に亘り次々先輩の方々に引き継がれたこの西こじょう会を私たちも心をこめて引き継いでゆかねばと思っています。今年度の活動計画の第一は学園との連携による地域ミ-

ティングの実施であり、地域のリーダーとして地域活動をより活発に行い区社会福祉協議会との連携を深めて、鯨城会本部との連携の強化を図ります。次に本来の年間活動のより積極化の実施です。第 1 点 西区には「庄内緑地公園」という膨大な敷地を持つ花と芝生と緑の公園があり、地域住民の憩いの場所です。西こじょう会の同好会が四季を通じて花作りをおこなっており本年は連携し活発にこの作業を、継続していきます。第 2 点は行事活動をより活発に行い昨年以上の会員同志のふれあいの機会を持つ。第 3 点は【西こじょう便り】により多くの寄稿をいただき尚 1 層充実した紙面を計る。第 3 点は同好会への積極的の参加、本年は新に「ドラゴンズ同好会」を発足し既存の写経、日本画、花作り、スケッチ、写真、グランドゴルフ、カラオケ、健康、オモチャ病院、と 10 の同好会とする。

以上この事業活動を行うには会員皆さんの積極的な参加と共に各担当役員、幹事の皆さんの協力が絶対に必要なのは勿論であります。

（21 期・文化 A）

中村鯨城会の活動

会長 山田 公定

平成 24 年度中村鯨城会で、伝統ある会長の職を拝命し、責任の重さを痛感している。

会は新入会員 21 名が加わり、総勢 177 名で総務・会計・広報・行事・地域活動・ボランティアの 6 委員会を中心に、会則にあるように会員の親睦、社会福祉の増進に寄与することを目的に、各種事業を遂行する。

総務・会計委は、会の中核で、会場の設定資料作成、資金管理等を担当している。

広報委は年 3 回「中村鯨城会だより」を発行し、読みやすい時宜を得た紙面づくりを心掛けている。行事委は、5 月以降隔月に、桑名六華苑、瀬戸陶磁器資料館、航空自衛隊小牧基地見学などを行い、親睦と知識の向上を目指している。地域活動委は、毎月中村生涯学習センター周辺と名駅西口付近の清掃美化に努めるとともに、各種のクリーンキャンペーン等に積極的に

参加している。ボランティア委は訪問施設での車椅子介添え、夏祭り、クリスマス応援、童謡、習字、絵手紙の指導、各施設への雑巾贈呈などの社会貢献活動を行い好評を博している。

鯨城会は中村区民まつりに協賛し、中村公園内で「昔の遊びを子どもに」をテーマに風船つり、コマ廻し、糸電話等々子どもに喜ばれている。昨年は 60 名が従事した。

また作品展を地下鉄本陣駅構内の本陣ギャラリーで開催し、昨年は絵画書道写真手芸など 80 点を展示し 600 名近い観賞者があった。

その他クラブ同好会としてウォーキング、写真、グラウンド・ゴルフ、囲碁などがあり、多数が活躍している。

各種の行事、活動に会員が一人でも多く参加し、楽しく有意義な中村鯨城会となるよう事業運営に努めたい。(23 期・環境)

年間事業計画の作成について

会長 樋口 勝利

事業計画を作成するについては、まず、年間の実施するおおよその種目とその回数等とをあらかじめ決めております。

会の基本的なものとしては、総会と年 2 回の広報誌「中鯨城会だより」の発行があり、会員相互の親睦及び会員の研鑽を目的とした行事としては、新年懇親会、作品展、親睦バス旅行、講演会と講習会、社会見学等があります。また、社会奉仕・ボランティア活動を目的とした行事としては、美化清掃活動、福祉専門学校生との交流会、名古屋市の「心の絆創膏キャンペーン」等があります。さらに、会内には、特別擁護老人ホームで、毎週月、木曜日に喫茶サービスのボランティアを行っている「つくもボランティア」グループがあり、年間延 900 名を越す会員による活動を行っており、ボランティア活動は、「絵手紙同好会」も、月に 1~2 回市内の老人ホー

ムで絵手紙や絵画の指導を行っています。

外部団体にかかる活動としては、中区社会福祉協議会の区内で活動するボランティアグループの連絡組織「ボラネットなかまんなか」での事業の参加及び「デイサービスセンターなか」の行事の支援等を行っており、区役所まちづくり推進室関連の「中区安心・安全・快適なまちづくり推進協議会」ほかの行事では、街頭等での「啓発品」の配布の実施等への参加も行っております。

平成 24 年度の事業計画の作成にあたっては、「同好会」に関するもの及び外部団体関連の未確認や未確定なものを除き、前年の実施実績等を参考にして実施する種目、項目、回数及び時期を決めており、会員の関心度等も考慮しております。(23 期・文化 B)

想うこと

会長 黒岩 一夫

わたしの所属する昭和鯨城会は、前年度創立20年を体験しました。「活動も成熟期に入ったかな」とか「大人の活動になったのかな」と言った声を耳にします。会の活動を前に進めるためにも。さらに会の活動を楽しくするためにも今、私達が必要としているものは何か。何を伸ばし、改め、加えるべきか。言葉と文字だけが頭の中で去来します。

何時も楽しい会、昭和鯨城会でありたい。会員相互のふれあいの機会と場を多く持ちたい。無理をしない負担にならない活動でありたい。そのためには、みなさん方の集まり、「食事の会」「お茶の会」「企画された行事」等、何でも良い。関心のある所に「顔を出して見る」事から「楽しい会」は始まるのではないか。一方、参加することに負担を感じたり、無理をしたりするのは何故？どこかに偏りがあるのでは？その「偏り」「重み」を、皆で少しずつ分け合う事ができないものか？言い換えれば仲間に対す

るボランティア活動ですよ。と、思えば身の動かし方も幾分軽やかになろうかと。何をこの年になって今さらと、一笑にふされることでしょうか。

しかし、昭和鯨城会には、地域と結びついた「ミニ鯨城会」名称は、各地で異なりますが、同じ主旨・活動基盤で各学区に出来上がりました。昭和鯨城会の活動を垣間見る機会と場所が設けられたのです。学区幹事の方、お手伝いされた方々の結果です。あとは、一人ひとりの参加意欲の問題ですね。ここでの盛り上がりは昭和鯨城会の活動のもととなり、鯨城会を支える力となっていかなければなりません。わいわいがやがやの中から先輩に学び、活動を見出していきたいものです。折角の出会い大事にしたいです。大事にする中でふれあいを強めていきたいです。そして相互の絆をもっともっと深めていきたいものだと想っています。

(24期・環境)

『瑞穂鯨城会の平成24年度の活動方針と内容』

会長 鈴木 省吾

瑞穂鯨城会は、各種の「ボランティア」活動を通じて地域社会へ貢献。又一方作品展、行事、同好会活動で「生きがい作り」を上手に楽しんでいる。現在実施している主な活動は、次の通りである。「ボランティア」：瑞穂公園、山下通りの清掃毎月。リハビリセンター入院患者の散歩同行毎週。在宅サービスセンターの貸室管理補助毎週。使用済切手の回収。その他地域の区民まつり（社協共催）、わくわくみずほまつり参加等多岐に亘る活動を実施。「行事」：会員の趣味の作品展、親睦旅行、見学会、会食等会員の交流行事。「広報誌」：役員会、委員会報告。ボランティア、行事、同好会等の活動内容を記

載し、年3回発行（約250部/回）。「同好会」：ウォーキング、健康体操、書道、グランドゴルフ等、8つの同好会活動。以上のような活動や良き伝統を継承しつつ、新しい風も取り入れ、更に活動を充実させる考えである。又この4月から立ちあがる「地域ミーティング」の中で、これからの鯨城学園並びに地域活動の在り方を討議。関係者ともベクトルを合わせ、より良い地域活動、外部への発信、PRが出来れば良いと思っている。特に今年度の瑞穂鯨城会は、「地域と共に生き生きと楽しく」をモットーにして、今まで以上に地域活動を大切にしていこうつもりである。

(24期・国際)

「共に楽しむ場を」

会長 高橋 晃二

あれから（東日本大震災の発生）早くも一年余。足元では名古屋市の事業見直しによる高年大学の存続問題が大きく揺れ動き、現時点でも結論が見えず、検討のさ中である。こうした中で当区会も4月10日に総会が開かれ本年は第23期の役番ということで、私が会長を受け、その重圧を感じているところです。先ずは今まで会の設立や、よき伝統を築きあげられた諸先輩のご尽力に対し、深く敬意と感謝の意を表します。又新たに入会されました25期の9名の皆様には、会員一同心から歓迎を申し上げます。なお私としましては微力では有りますが、よき伝統を守り一歩でも前進すべき最大の努力をする所存でありますので、会員の皆様のご指導とご支援の程よろしくお願い申し上げます。

さて、本年、当区分の事業活動方針は

- 1、会員相互の連携を図るため親睦会、見学会、機関紙の発行等を計画、実行する
- 2、鯨城学園で学んだことを活かして、地域活動に参加し、社会奉仕を実施する
- 3、熱田区の特徴を活かした活動に取り組む
 - (1) 歴史的な名所めぐりによる学習
 - (2) 堀川とその周辺地区の環境整備への関心で有ります

この考え方を基本として、具体的な各種行事やボランティア活動等を計画、実行し業務を進めて参ります。どうか会員皆様の一人ひとりが、各種行事やボランティア活動に積極的に参加、体験、行動していただき、「人生の生きがい」「共に楽しむ場」を求め、享受していただきますよう切にお願いするところで有ります。

(23期・陶芸)

地域活動の活性化をめざして

会長 荒川 武光

例年であれば、4月4日は桜の花が満開のころですが、今年はまだ5分咲き程度で開花がやや遅れている肌寒い日に、平成24年度の中川鯨城会総会&新入会員歓迎会が盛大に開催されました。

今年度は21名の新入会員を迎え、新しい役員と共にスタートを切ることになりました。昨年度は20周年の節目の年であり、記念式典では厳かに進められ、祝賀会では第1期生の大先輩からの記念講演と楽しい語らいと各種余興が披露され、大いに盛り上がりを見せました。これは偏に諸先輩方が築かれた伝統のお蔭だとつくづく肌で感じました。

そして、今年度は新しい段階に移ってきました。鯨城学園では存続問題もありますが、新たに「地域ミーティング」が新入生から始められることになり、地元での社会奉仕活動などがさらに重要となってきました。

中川鯨城会としても地域での活動は従来に増して活性化が求められていることを認識しなければなりません。幸いにも、我々の先輩方が地道

に「社会奉仕」委員会での清掃ボランティア活動や高齢者福祉施設などで多くの活動を継続して実施されています。この様な活動を更に進めるには、一層の自発的な活動を活性化すると共に、新しい視点からの取組みも考えなければなりません。これらを支える総務・広報の委員会等の活動も合わせて活発化することが必要と考えています。

これらの施策を具体化するには、役員会での活発な議論・協議と共に、全員の積極的な活躍が期待されています。

また、会員の健康の維持やストレスをためないために「気功」「グラウンド・ゴルフ」や「カラオケ」などの楽しい活動と共に、「社会見学」などの行事も従来からの延長でなく、皆さんが参加しやすく、楽しみの多いものを企画することを考えて進めていきます。

これらを達成するために、新役員と共に、会員皆様の一致団結した協力と支援をお願い申し上げます。

(23期・文化A)

『平成 24 年度活動方針』

会長 佐藤 隆之

【活動方針】

鯉城学園の建学精神を卒業生全てが理解することはもとより、日常活動においても意義ある行動が求められている現状に鑑み、市民は在校生を始め卒業生にも注目している状況を区会の組織内において、より深く真剣に取り組み浸透させてゆくことを、先の区会の幹事役員会で確認を行った。

【ボランティア活動計画】

地域に溶け込み、地域でもボランティア活動を推進する為の活動を実践する。

◆名古屋市港区社会福祉協議会へのボランティア団体の登録。

今までなされていなかったのを、今年度から団体登録を行い地域のボランティア団体との連携を図る活動を積極的に取り入れてゆく。

今まで、ややもすると自分達だけが楽しむ活動が目立ち、市民からは冷ややかな眼で見られていた部分を払拭し、地域に根ざした真のボラ

ンティア団体を構築する。そのための第一歩としての団体登録である。

◆先輩諸兄が綿々と携わってきた、『とだがわこどもランド』での通年のボランティア活動は継続して実施する。

ア) 年間5回の花の植え替え管理や園内緑化活動の継続。

イ) 5月のこどもの日を中心にした「こどもまつり」の応援ボランティア。

ウ) 毎週土曜日・日曜日・祝日のこども園の図書室の書籍の整理活動。

エ) 10月の体育の日を中心の秋祭りのボランティア活動。

◆鯉城会（学園）等主催の行事への出席率の向上に努める。

わが区会からの参加率をさらに向上させるため、周知徹底の出来る組織の強化を図るため、11の学区に分かれている班別組織の強化を図る。
(24期・環境)

「自分たちでできること」を目指して

会長 二村 洋治

南鯉城会（こなみ会）は今年度新たに20名の25期生が入会し、178名の会員でスタートしました。会設立20年を経たここ2・3年は180名前後の会員で活躍しています。

南鯉城会は学園趣旨に則り、「会員相互の親睦」と「地域社会への貢献」を目的にしているが、昨年まで会の活性化の一つとして「同好会の活発化」を推し進め、現在ではリズムクラブ、パソコン、ペタンク、グラウンド・ゴルフ、ウォーキングと5つの同好会が一応軌道にのって活動しています。

そこで、今年度はもう一つの目的である「地域社会への貢献」についてボランティア活動を中心にして会を活性化したいと考えています。個人はそれぞれの趣味は特技を生かして個人活動や、個別グループを作って活動したりしているが、区会では公園清掃活動が2か所と“お

もちゃの銀行”活動とで会員でまとまったの活動はまだまだ充分とは云えません。ボランティア活動は個人、団体の両方とも必要ですがいろいろな事情で参加できない人もいて諸行事への参加者の顔ぶれが同じことが多いのが現状です。一人でもより多くの会員相互の参加によるボランティア活動で、広く地域に密着した“こなみ会”の姿を実現させたいと思います。

鯉城会、社会福祉協議会、まちづくり推進室・土木事務所等と連携を密にし地域参加への一層の増加を計り、「区民まつり」「障害者区民のつどい」等に参加し、今まで以上に地域との繋がりを深め、面的活動への拡がりを背のびすることなく継続参加していきたい。そして地域からは必要とされる元気な“こなみ会”として存在したいと思います。
(23期・美術)

「明るく、楽しく、元気よく」

会長 浅井 保司

守山鯨城会は、今年創立22年です。多くの先輩方のご苦勞、ご努力に感謝いたします。25期生44名を迎え、総会員数293名の大きな組織となりました。その為、より一層会員相互の交流と親睦が求められます。本部行事では、行事委員主催の春の日帰りバス旅行と秋の趣味の作品展です。バス旅行は、アンケートにより、京都への「平清盛ツアー」に決まり50人の申し込みがありました。趣味の作品展は、今年10周年を迎え二部屋用意しました。昨年は一部屋にて、出展をお断わりした程でしたが、今年は多くの会員の方に参加して頂きます。

地域会主催の社会見学も各地域代表者の方々に色々考えて頂きました。「名古屋証券取引所」「アサヒビール」「中部電力火力発電所」など観て、学んで、楽しい企画が用意できました。広報委員は、「守山鯨城会便り」と昨年度から始めました。「守山鯨城会かわら版」をより充実させ、紙面を通じた交流も大切な事と思います。

昨年、名古屋市は事業仕訳を行い、「高年大学」は、廃止と決まりました。結果については、色々な意見があることは承知していますが、地域の方の当大学に対する認識不足かと思えます。学校は、今年度から「地域ミーティング」を設け、在校生の方々に地域活動の大切さを学んで頂くもので、社会福祉協議会、鯨城区会が連携して実施されます。ボランティア委員は、区役所との間では清掃活動、社会福祉協議会では「秋の福祉まつり」で駐車場管理、玉野川学園とは、10年余り生徒さんと一緒に農作業を通して交流を図っております。

地域の皆さんと一緒にを行う活動が一部（森孝地域）のみで、今後の課題です。各地区の「学区」「老人会」「町内会」の皆さんとお会いして、守山鯨城会として決めたいと思っております。

守山鯨城会は、「明るく、楽しく、元気よく」活動させて頂きます。（23期・環境）

会員相互の親睦と社会奉仕活動の促進

会長 小玉 正氣

緑鯨城会は「会員相互の親睦、社会奉仕活動を推進し地域貢献する」ことを目的とする。ただ、退会者が多い中で、緑鯨城会としては如何に魅力あるものとして活動していくかである。こうした中で、本年度は次の対応をしていく。

1. 会員相互の親睦の促進

「会主催行事」と「各期別主催行事」の2つを実施している。会主催行事は、本年度は「近場、今」をテーマに地域を意識して開催する。また、各期別主催行事は、卒業期別毎に趣向を凝らし、開催する。

2. 社会奉仕活動、地域貢献に一層の促進を図る。

ボランティア委員会等、総務が中心に次の活動をし、活動の拡大を図る。

- ・清掃活動：現在は新海池公園周辺1地区だが、本年度は緑区の広大エリアを考慮し、1～2地区の公園等を加えた活動をしていくこととする。

- ・特別養護老人ホームボランティア活動
毎週2回の活動をしている。今後はより多くの会員の参加が課題であり、この改善をしていく。
- ・雑巾ボランティア活動
毎年、1,000枚以上を目標に収集し、緑区社会福祉協議会を通じ区内各福祉施設に贈呈している。これを継続する。
- ・趣味の作品展開催
出品について、会員以外の、一般区民の出品参加を促進していく。
- ・緑区区民祭参加
今年度から、正式に区会行事として継続参加していく。
- ・その他：緑区クリーンキャンペーン、緑市民病院のボランティア活動、区社会福祉協議会依頼の各種ボランティア活動へ参加等
(23期・地域)

「地域活動の時代を迎えて」

会長 小島 武

名東鯨友会の軌跡を振り返ると、平成元年8月24日の設立と古く、鯨城学園の開校2年後に設立している。

今年24年目を迎え、今や330名の会員数は、16区の中でも、2番目となり、又その活動はいろいろな面に広がっており、地域社会に於いても徐々に浸透してきました。特に区役所関係の行事に於ける鯨友会の存在は、ボランティア活動と共に行事開催に欠かせない存在として注目されています。今後も、活動の更なる継続と、広がりが地域社会で認知、評価される大きな鍵になると思います。

さて、名東鯨友会の今年の活動方針の基本は、学園設立の趣旨である2本の柱の再確認と、その実践を会員の皆様と共に推進する事です。

◆ 高齢者の生きがいづくりと、地域社会での更なる活動の継続。

◆ 地域文化活動としての総合美術展の発展、ボランティア活動と交流の輪の拡大。

次に、現状の活動状況について記述すると

1 活動状況

全会員対象として、野外活動、社会見学会、日帰り研修旅行、会員発表会、総会、懇親

歓迎会、新入会員説明会がある。

これらの行事は、慣例化されており、深く会員に浸透しています。

今年の注目行事は、今後の文化活動の柱となる名東総合美術展でありこの為、昨年秋から実行委員会を、初めて立ち上げ関係者の努力の結果、従来のお品数の約3倍の作品の出展の申し込みを頂いています。

2 ボランティア活動

現在4つのボランティアサークルがある。

(1) ライラックの会…名東ボランティア活動の基礎となったサークルで、主に老人ホームを中心に年間…1340名が活動

(2) 上社JCT花飾りボランティア…176名

(3) 名東中央緑道街路樹特定愛護会…240名

(4) 名東ボランティア ……………211名

参加者計 1967名

3 同好会

現在10の同好会があり約300名が元気に活動している。

グラウンド・ゴルフクラブ、歩こう友の会他 (23期・生活A)

地域貢献 福祉ボランティアへの挑戦

会長 豊田 悦造

天白川の岸辺に大きな黒い影、見ると川の主のような鯉である。上流からは桜の花びらが流れ、水面の色を白く変えるほどである。4月中旬、天白区役所北側の緑道清掃ボランティアでは、“天白こじょう会”と名前入りベストにお揃いの帽子で、右手にゴミ鋏、左手にボランティア袋のスタイルで10数人が汗を流した。散歩をする我々と同世代の夫婦が、“御苦労さま”と声を掛けてくれてご挨拶。また、この時期、区役所は凄い人混みである。住民票など転出入の手続きのためである。区民の皆さん、背中文字見てくれたかな……

学園校歌『青葉燃え立つ 白川に 縁集いて 友となり 立ちて得し技 知恵の輪を 共に 伸ばして助け合う 我ら鯨城生』と歌った時から早3年が経過。24期生ながら、役員改選において多くの方から推薦を頂き、天白こじょう会の会長をお受けする事となりましたが、身のすくむ思いです。

ときに鯨城学園の存続問題が起こっている折

から、反省するべき事項はいろいろとありますが、さて、それでは何から取り組むかとなったとき、第一に話し合った課題は、役員執行部の期別で言う若返りをはかる必要があるという事でした。役員のスムーズな交代ができ、新しい取り組みを行う事の重要性を感じている今です。そのことからみると、今年は前会長の努力のおかげで、25期生へのアプローチを強化し、1月19日の学園内での区会別説明会には“天白こじょう会だより74号”を増刷して配布をしました。その結果もあり、3月3日に天白生涯学習センターで行いました新入会者への説明会に例年より多くの皆さんにお集まりいただいた。役員については25期生の自主的発言により選任することが出来ました。

新年度の「活動方針」地域貢献、福祉ボランティアへ積極的参加をこれからも、知恵の輪を共に伸ばして助け合う天白こじょう会にと思っています。(24期・美術)

平成 24 年度各区会展示会予定について

区会が主催又は参加している平成 24 年度の展示会は下記のとおりです。詳細については各区会が発行する会誌、チラシ、ホームページなどでご確認ください。

区	区会名	作品展日程	会場	展示会名
千種区	花水木鯨城会	平成24年10月16日(火)~21日(日)	愛知県芸術文化センター B2F アートスペース	第9回 趣味の作品展
東区	東鯨城会	平成24年10月中~下旬(予定)	検討中(黒川 G or 矢田 G)	第8回 ふれあい作品展
北区	北鯨城会	平成25年2月下旬	地下鉄名城線黒川駅構内 ふれあい黒川ギャラリー	第17回趣味の作品展
西区	西こじょう会	平成24年10月2日(火)~4日(木)	西生涯学習センター	西区総合作品展
中村区	中村鯨城会	平成24年11月(予定)	地下鉄本陣駅構内 本陣ギャラリー	中村鯨城会作品展
中区	中鯨城会	平成24年10月11日(木)~14日(日)	名古屋市市政資料館	趣味の作品展
昭和区	昭和鯨城会	平成24年10月23日(火)~25日(木)	昭和区役所講堂	昭和鯨城会趣味の作品展
瑞穂区	瑞穂鯨城会	平成24年11月6日(火)~11日(日)	名古屋市博物館 3階 ギャラリー第4室	第17回瑞穂鯨城会趣味の作品展
熱田区	熱田鯨城会	平成24年10月27日(土)~28日(日)	熱田生涯学習センター	趣味の作品展
中川区	中川鯨城会	平成24年5月12日(土)~13日(日)	中川区役所講堂	中川鯨城会作品展
港区	港鯨城会	平成24年12月7日(金)~9日(日)	名古屋ポートビル2階 展示回廊	港鯨城会 平成24年度 展示会
南区	南鯨城会 (こなみ会)	平成24年10月18日(木)~20日(土)	南区役所講堂	趣味の作品展
守山区	守山鯨城会	平成24年10月23日(火)~28日(日)	市民ギャラリー矢田	守山鯨城会趣味の作品展
緑区	緑鯨城会	平成24年9月15日(土)~17日(月)	緑区役所講堂	第17回 趣味の作品展
名東区	名東鯨友会	平成24年6月22日(金)~24日(日)	名東区役所 講堂	名東区文化協会「総合美術展」
天白区	天白こじょう会	平成24年10月6日(土)~7日(日)	天白生涯学習センター2階	趣味の作品展

学生協議会ニュース

「学びあい」から「社会貢献活動」へ

26期 学生会会長 山中 諒一

平成 23 年 10 月に 26 期生学生会の協議員メンバーで親睦宿泊合宿をした。その折、学生会の目標を「心あたたかい学生協議会」と決定。「心あたたかい」とは、確実な任務の遂行を行い、学生会の適切な運営を行うことである。

合宿時に 25 年前 3 つの目標（学習と自立、自主活動からの絆、社会参加）で学園創設されたパワーに感謝しつつ、会話がはずんだ。

その後名古屋市事業仕分けで鯨城学園廃止の判定。OB 鯨城会のご援助を得て、署名活動を展開。又東日本大震災の募金活動もした。

24 年度は、四半世紀実施された行事を踏まえ体育祭（9 月 26 日）市民に開かれる文化祭

（11 月 15 日～17 日）を行う。29 クラブ活動の自主活動の充実、学園広報（学生会ホームページ）の工夫などを重点目標としている。24 年度中に「鯨城学園のゆくえ」が決定されそうなので、学園改革継続委員会を設置し、その対応策を協議する。27 期生入学時に実態調査をすることと、26 期生は 1 年間の学びの上に、社会参加（貢献）活動にかかわり、卒業後の展望が明るくなるよう学生会として努力したい。

鯨城会の皆様のご援助をいただき、健康な老人が社会貢献活動をして、住みやすく、すてきな名古屋の街を夢見ているこの頃です。

学園生活2年目を迎えて

8階の窓

26期 生活A学科 岡田 正男

8階の講義室の窓から広い名古屋の街が見える。地上から見えない風景に今までの自分の行動の狭かったことに驚いている。昨日まで知らなかった人が集まって講義を聞いている。クラブ活動を楽しんでいる。

研究発表では奥深い体験談を聞くことが出来た。体育祭、文化祭では練習会場の確保、演技指

導など個人、個人の経験、知識が生かされている。

同じ目標に向かって行動することが、汗を流したことも、苦しかったこともみんな喜びに変えてくれた。5回6回と繰り返し練習してやっとなることができる。高齢者の特権だと思っている。

諦めずにやり通す事、学ぶ気力、行動する気力で一歩一歩進みたい。

地域ボランティア活動

26期 生活B学科 片岡 達彦

私は68歳まで現役そして引退、毎日が退屈でこんな人生ではと思い、一念発起、地域に恩返ししなければと考え、たまたま老人会長を引き受けました。我が町内の老人クラブ会員は56名で、皆様の協力を得て活動し町内のボランティア活動に年2回の防火、防災訓練の指導等して毎日が充実の日々、偶然に高年大学鯉城学園に推薦され、感激しました。仮代表から代表の大役を任されることになりました。当初は

戸惑いもありましたがクラス全員の全面的な協力を得て、この1年間大きな問題もなく順調に過ごせたかなと、自問自答をしている次第です。来期も代表を引き受け、クラスの協力のもと勤めていきます。縁あって学園の人々、教授、学生会、クラスの人達と幅広く出会い、学園の趣旨を尊重し卒業後は教養、専門講座で培った知識を糧に地域活動に貢献するよう、努めて参りたいと考えております。

熱く語って団結しよう

26期 文化A学科 尾崎 達男

昨年秋の学園の廃止判定以来、学校終って喫茶店で仲間と話すうちに、学園の内部問題もかなり白熱しましたが、具体的資料がないので不燃焼に終わってしまいました。

私は個人的意見として、利益者負担を原則に四つの改革を発表しました。授業料の値上げ、教授の人件費削減、楽陶館から撤退し貸窯利用、地域活動の具現化と。

年明後河村学長の講話後、学生会、学園からアンケート調査があり、継続対策に乗り出したが、私的には少々不満である。

非常時においては、学園運営については学生

はもっと自由闊達にディベートすべきであり、学生・OB・教授も熱く団結して、改革し再建すべきだ。

役所組織、政治的行動等色々問題はあるが、思い切った行動で、26年間の歴史を見直し、新生鯉城を創造できると思います。

最後に、一年生最後の授業はクラスミーティングであった。そこでみんなが鯉城に入った最初は不安だったが、体育祭・文化祭と仲間も増え楽しく元気になった、今後もガンバリたいが大部分だった。鯉城を継続させるのが、私達の務めだと思っています。

新しい学年を始めるとは

26期 文化B学科 大島 勝

繰り返し、くり返して、人生は何処へ、而して、今、三度目のくりかえしを、鯉城学園入学により歩み始めている。この三ヶ根山上の言葉によって始められた私の学園生活は

1 晴天の霹靂、クラス代表に選出される。

2 足(膝)を痛めて、転部する。

3 政治的・仕分けにて・学園の廃止決まる。三つの想定外に困り、心は乱れ、村戸は泡立ち、頭は長元坊の黒斑の如く天空に乱れ飛びつつも、

ドイツの諺に思いを馳せる。

「青春の頃願った事が、老年になって豊かに滞される」とぞ、60有余年前の、初子として学舎に集う時の緊張と悦楽とを、今日、心と、身柄と、私の魂は感じる。

「青春時代に願った事が、老年に成って充分滞される」さあ、天よ祝福しておくれ、独翁の無私の祈りを、魂の叫びを、天恵肅肅、遅しく、優しく、静かに学び続けよう、さあ。

鯨城学園存続のためには

鯨城学園は、昨年10月、名古屋市の事業仕分けにより極めて残念な判定を受けてしまいました。今後学園存続のためには、経費削減のため授業内容の見直し、授業料値上げ等も、やむをえないかもしれません。又鯨城会の方々によるボランティア活動には、敬意を表したいと思いますが一般市民の皆様には、まだあまり知ら

26期 園芸学科 仲島 勝敏

れていないこともあり、もっと鯨城会の活動をPRすべきではないでしょうか。

私は現在、町内会の会計を担当している程度でこれまで活動には、あまり縁がありませんでしたが、今後は、これまでの経験と趣味を活かせるような活動から取り組み、地域貢献に努める事が出来れば、と考えています。

鯨城学園2年目に思うこと

1年目は、学生会の諸活動やクラブ活動、クラス活動などの自主活動を通して、友情と連帯を深めることができ、生きがいと心豊かな一年間を過ごすことができました。

2年目は、さらに仲間意識を深め、充実した学園生活を過ごしたいと思っています。ただ、現在は全員が、学園の自主活動の成果を社会参

26期 陶芸学科 太田 春香

加に結びつけているとは言えず、このままではいけないと考えています。

市民に見えるような形で社会参加をすることや、陶芸を生かして地域へのお返しをすること、などを考えて、一年間学び、卒業後の活動につなげていきたいと思っています。

2年目を向かえて

高年大学に入学してあっという間に1年が過ぎ、この間に大学の廃止議論が持ち上がり学生協議会、在校生を中心として卒業生等と共に存続に向けた活動を展開し、第27期の入学に至りました。

今まであまり知られていなかった学園の存在が知られたことにより、今後は在校生等の行動

26期 地域学科 勝川 喜博

により廃止か存続の議論が注目されると考えられることから、我々が1年間学んできた知識、学園の意義をもっとアピールしていく必要がある。学園は名古屋市の知識、見識のシンボルとして、高齢者が頼られ、生き甲斐の一つとなるように、卒業後もボランティア活動等を通じて訴えていきたいと思っている。

前向き学科「健康学科」

健康学科のクラステーマを“元気で明るく楽しく”に掲げスタート。

クラス全員の全面的なバックアップに支えられ、戸惑いながら、試行錯誤の連続ではあったが、1年を振り返るに、順調に過ごせたのではと思います。

特筆すべきは、入学当初、杖の助けが必要な人、体調の思わしくない人、引っ込み思案の人、無口で退学の事ばかり考えていた人達が、一様

26期 健康学科 石川 敏彦

に前向きに積極的且つ元気で明るくなったということがあります。

何ものにも換え難く 感謝！ 感謝！
既に、ボランティアへの積極的な取り組みも始まっているなど学園生活2年目を迎えるにあたり、入学当初では考えられない姿勢も数多く見られるなど、頼もしい限り。

有意義な悔いの無い最終年としたいと思う今日この頃である。

鯨城学園「形を変える刷新」

26期 美術学科 安田 正雄

鯨城学園は設立から27年。時代も大きく変わりました。昨年税金の費用対効果が問われ事業仕訳では廃止と判定されました。このことは厳粛に受け取らねばなりません。これを機にこれから鯨城学園が必要とされるにはとの思いで刷新の骨子を提案します。

1 民営化

※例 日本福祉大学等に事業を委託

2 入試制度

- ※奉仕活動に意欲、適応する人材
- 3 2年間で専門学科の修得
- ※奉仕活動が実践できる講座内容
- 4 「鯨城会」奉仕活動の開発
- ※学生の相談・地域と連携・斡旋
- 奉仕活動の現状、情報、防災講座等を開き奉仕活動を鼓舞する。
- 「生きがいつくり」とは奉仕活動の実践から真の喜びが得られるものだと思います。

これから

26期 環境学科 上野 恒男

私が体験した鯨城学園は、今までの会社人間にとっては想像もできないくらい自由でフラットな環境です。特に、「今がすべて、過去のことは知らない」ところから、自然な形で友人関係が生まれるということは、とても新鮮でした。

一方では、体育祭・文化祭などの行事であったという間に一年が終わってしまったので、二年生

ではすこし余裕を持って学園生活を楽しみながら、卒業後の生き方についての準備も始めたい。リタイア後のこれまでも、いくつかのボランティアや趣味のサークルに関わってきましたが、これからは、活動することでもっともっと自分も楽しく、仲間も楽しくなるようなボランティア、趣味をいろいろリサーチするつもりです。

健康であること

26期 国際学科 草鹿 誉四郎

健康（心身及び脳）維持と友達づくりを目指し当学園に応募し、幸いにも1回目で入学を許され、早1年が経ちました。その間、クラス活動やクラブ活動で色々な方々とのコミュニケーションを深めると同時に健康を維持しております。このことが、学園の最大の効用ではないでしょうか。若し入学していなければ、取り立てて誇れるような趣味も持たない私、今頃、公園のベンチに座り、早々と老けていく自分を想像

するとゾットとする次第。更に長い卒業後の人生を踏まえ、今クラス内では、ゴルフ、旅行、カラオケ、小勉強会等の同好会を設置し末永い仲間づくりを画策しています。このことにより、卒業後も心身の健康を保ち、ボランティアを始めとする社会貢献が出来るのでは無いでしょうか。採算云々よりも、健康維持により高齢者医療費の削減、高齢者福祉に鯨城学園の意義を見出したい。

卒業後のボランティア活動の計画

26期 福祉学科 藤井 幸男

私は定年退職までは老人福祉等について殆んど知識がなく知人の紹介で福祉を勉強し退職後、老人施設の評価、調査に携わりました。

評価、調査で施設の状況が確認でき又ボランティアの必要性も感じ私もデイサービスで利用者と麻雀、傾聴のボランティアを少し経験しました。

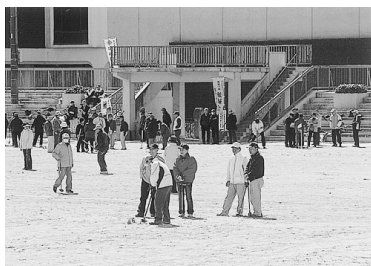
老人福祉も大切ですが、私は児童福祉に関心

を持っており、ある会で少子化が進む中で次代を担う子ども達の育成に取り組まないと将来は大変と訴えられ考えさせられました。

近年児童虐待、通り魔、事故等子どもを取り巻く環境は悪化しており卒業後は高齢者でも出来る見守り、児童虐待の防止等が主な「なごやすくすくボランティア」に参加して地域に少しでも貢献できたらと考えています。

第7回グラウンド・ゴルフ交歓会成績表

平成 24 年 3 月 26 日 (月) 鶴舞陸上競技場



	順位	氏名	区	2ラウンド (16ホール)		
				1打回数	2打回数	合計打数
Aゾーン	優勝	坂東 文夫	北	1	5	38
	準優勝	田中 次郎	天白	1	6	39
	3位	岩田 裕夫	港	1	3	39
	4位	武藤 勉	守山	1	5	40
	5位	坂倉 四郎	中川	1	3	40
Bゾーン	優勝	洞谷 弘行	中川	1	8	36
	準優勝	中岡 正道	昭和	1	6	38
	3位	国松 篤美	昭和	1	5	41
	4位	川住 正彦	守山	0	8	41
	5位	本田 昭夫	瑞穂	0	7	43
Cゾーン	優勝	伊藤喜代蔵	守山	1	5	37
	準優勝	犬飼 清尚	北	1	7	38
	3位	野村しずよ	南	0	7	40
	4位	中村 文子	中村	0	6	40
	5位	櫛田 諄造	南	1	3	41
Dゾーン	優勝	北川 英雄	中	2	5	34
	準優勝	岩田 榮助	港	1	7	39
	3位	三好 保次	名東	2	1	41
	4位	池田 安枝	西	1	3	41
	5位	神谷 裕	天白	0	8	41

第2回「こころの絆創膏配布キャンペーン」

平成 23 年度 社会奉仕活動委員長 稲熊 和易

名古屋市健康福祉局障害福祉部の依頼で昨年 6 月に続き今年も平成 24 年 3 月 1 日 (木) ~28 日 (水) 迄 19 日間、延べ 38 回地下鉄主要駅 40 ヶ所。120 名以上参加。

各区会長はじめ各区会員の皆様方に朝 8:00 ~9:00。夕方 17:15~18:45 迄、一日 2 ヶ所。主要駅で寒風又雨の中「こころの絆創膏キャンペーン」を通勤者の方々に配布して頂きありがとうございます。

「こころの絆創膏キャンペーン」の啓発内容には、うつ病や、心の悩み (自殺者)。障害のある人、ない人お互いに尊重しあえる街づくり (なごや)。をめざし。※(自殺者数は交通事故死数のおよそ 10 倍。名古屋市では平成 10 年以降年間 (400 人~500 人で推移しております。) こうした実態を受け名古屋市は平成 22 年度から 4 ヶ月 (5、6、2、3) にわたる継続的なキャンペーンを実施している。鯉城会は 2 ヶ月 (6

月と 3 月) に実施しました。

事故もなく皆様のご協力で無事終了出来た事を心よりお礼申し上げます。

名古屋市健康福祉局障害企画課、野口孝子様からもお礼の言葉が有りました。



※尚、平成 24 年 3 月 11 日 (日)「3. 11 東日本大震災街頭募金」に多数の協力参加して頂きありがとうございました。

第25回公開講演会

“二胡とピアノで午後的一刻(ひととき)を”

平成 23 年度行事委員長 竹内 洋一

今回の講演会、皆様楽しんで頂けましたでしょうか。

朝からの小雨で出足も余り良くない中、定刻に開始、内容は二胡、ピアノ、ギターの演奏、二胡とピアノの競演と巾広く又、楽曲として中国民謡、日本の唱歌、歌謡曲の演奏ありと短い時間の中での演奏会でしたが、終盤には、観客の皆様と唱歌を合唱するといった内容で多くの方々にお楽しみ頂いた事と思います。今回のアンケートの内容からも多くの方々から“大変良かった” “良かった” の両項目で全体の 95% で有り、私共とすれば良い企画をしたと喜んでおります。

しかし、当日の観客の動員数は天候の関係かどうかは別としても、780 名収容のホールに約 600 余名と空席が目立ち観客動員については、大変残念な結果でした。大変反省をしている所です。

尚、観客動員に関するアンケートからの分析結果として一般、卒業生は従来と変わりませんでしたでしたが、在校生の皆様の参加率が大変低く、これについて、従来通りチラシで PR、鯉城ニュースへの掲載、各教室への掲示又、開催の直前に生徒の皆様にご説明会を実施

してまいりましたが、これらの方法からは、効果が認められない事から、見直しを必要があると考えます。皆様に良い案等ありましたら教えて下さい。

ご協力をお願い致します。

今回の講演会で私共の 1 年間の行事は終了となりますが、昨年 3/11 “東日本大震災” の発生から、世間一般が何事に於いても少し控える傾向に有った中でのスタートでしたが、行事委員会としてはむしろ明るく、楽しくをモットーとして、進める事で皆様に元気を与えられるのではと考え進めてまいりました。いかがだったでしょうか。

最後に各行事を進めるについてご協力頂きました学園の先生を始め、鯉城会役員、幹事の皆さん、各区の代表者の皆さん、そして、観客として参加頂きました多くの会員の皆様にご厚くお礼を申し上げます。

ありがとうございました。



「二胡とピアノで午後的一刻を」を拝聴して

23 期・生活 B 学科 若松 百合子

鯉城会主催の第 25 回公開講演会が平成 24 年 2 月 23 日 (木) 1 時 30 分から 3 時まで伏見ライフプラザ 5F 鯉城ホールで開催されました。午前中に降った雨の影響なのか来場者が若干少ないような気がしました。

今回は、二胡とピアノのコラボ、更に演奏者がお父様とその娘さんと言うことで、興味深く思われた方も大勢いらっしゃったのではないのでしょうか。

大畑正幸さんは、高山市清見町のご出身で現在は緑区にお住まいです。最初はギターでキャリアを積み、ギター音楽大賞で最優秀新人賞受賞、新人ギター演奏会では第一位受賞をされその後、二胡と出会い中国の有名な先生に師事をされ現在の二胡奏者になられたそうです。大畑りえさんは、小学校 5 年生の可愛らしいお嬢さんで、ヤマハ ES アンサンブルコンテストで連続銀賞受賞、PTNA ピアノコンペティション B 級中部日本の本選会にも

出場された経験の持ち主です。

息の合ったお二人の演奏は、二胡とピアノの合奏 7 曲 (愛の挨拶・早春賦・川の流れるように・浜辺の歌・いつも何度でも・ふるさと・見上げて夜の星を) 二胡独奏 2 曲 (蘇州夜曲・賽馬) ピアノ独奏 2 曲 (ソナチネ第 1 楽章・ポロネーズ遺作) ギター独奏 2 曲 (エルビート・愛のロマンス) でした。二胡とピアノの組み合わせは意外な気がしましたが、どの曲も大変素晴らしくほのぼのとした雰囲気の中、親と子の強い信頼感が合奏を通して伝わってきました。「ふるさと」の演奏に合わせて来場者全員で合唱したりして楽しい一刻を過ごし、哀愁に満ちた二胡の音色で中国民謡から懐かしい日本の音楽まで幅広い演奏を満喫させて頂きました。またいつの日にかこのお幸せな大畑さん親子のコラボに出会いたいと思います。

表紙説明

<瑞穂公園…山崎川の桜と陸上競技場>

瑞穂区の代表的な公園として「瑞穂公園」があります。桜の名所としての山崎川沿いに陸上競技場、ラグビー場、野球場等の競技施設をはじめ、こどもたちのための広場や遊園等が設置された総合運動公園です。

公園の中央に位置する陸上競技場（写真）は、昭和25年の第5回国体の開催を契機に整備され、その後、昭和57年に全面改築、平成6年開催の第49回国体（わかしゃち国体）等の開催時に再び改築整備が行われ、愛知県を代表する施設です。
平塚 秀雄（23期・園芸）

訃報

平成24年3月31日現在

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。（敬称略）

北岡 實	(11・美術)	23. 6. 24	太田 節子	(13・健康)	23. 12. 29
原田 昭	(11・美術)	23. 7. 2	清水富士子	(15・園芸)	24. 1. 4
大岩 興子	(19・健康)	23. 8. 14	寺尾 博文	(24・生活B)	24. 1. 14
山上 貢	(23・地域)	23. 8. 26	竹安 一郎	(19・地域)	24. 1. 27
堀江 一	(19・環境)	23. 8. 28	岸田 敏子	(23・文化A)	24. 1. 28
水越 昌味	(12・陶芸)	23. 9. 1	佐藤 辰子	(17・生活B)	24. 2. 6
安藤 勝正	(23・地域)	23. 10. 18	倉知 保彦	(19・環境)	24. 2. 10
竹本 守	(14・生活B)	23. 10. 29	高橋 健治	(24・地域)	24. 2. 16
水野 一久	(8・陶芸)	23. 11. 2	住田 和男	(16・文化A)	24. 2. 17
石田 二郎	(17・生活A)	23. 11. 6	市之瀬克代	(20・陶芸)	24. 2. 25
加藤 清治	(14・美術)	23. 11. 29	足立 真人	(21・地域)	24. 3. 7
原田田鶴子	(17・生活B)	23. 11. 30	寺島 隆	(4・生活A)	24. 3. 9
杉本伊和男	(22・生活A)	23. 12. 5	櫻井 優	(20・生活B)	24. 3. 30

編集後記

本号も多くの皆様からご協力を賜りましたことを篤くお礼を申し上げます。

鯉城学園は25年を経て「学園の存続」の危機にあります。“ピンチのあとにチャンスあり”学園、鯉城会、各区鯉城会、会員相互のつながりをより強い「絆」で地域に密着した新しい道づくりを推進すべきときであります。

新しく立ち上がったホームページは、今まで4回勉強会を重ねてまいりました。各区より選出されたホームページ作成協力委員の協力を得て、各区の行事、ボランティア活動等の情報をきめ細かく伝えることができるよう推進してまいります。

親しみ易い魅力ある「鯉城ニュース」と「ホームページ」の充実とPRに努めてまいります。

広報委員 佐藤幸男・阿比留志づ子・高野義英・森山宣征・深尾芳彦
岩井海南子・梅田国清・ホームページ担当 多川裕弘

“長寿の国を診る”



高齢者の健康な生き方について考える。



講師

独立行政法人
国立長寿医療研究センター
理事長・総長

大島伸一先生

『講師プロフィール』

昭和20年9月 旧満州に生まれる。現在66歳

略歴

昭和45年 名古屋大学医学部卒業
昭和45年 社会保険中京病院 泌尿器科
昭和56年 社会保険中京病院部長(泌尿器科)
平成4年 社会保険中京病院副院長
平成9年 名古屋大学医学部泌尿器科学講座教授
平成14年 名古屋大学医学部附属病院病院長
平成16年 国立長寿医療センター総長
平成22年 独立行政法人
国立長寿医療研究センター 理事長・総長
平成21年 国立大学法人名古屋大学名誉教授

所属学会

日本泌尿器科学会(名誉会員)
日本泌尿器内視鏡学会(名誉理事)
日本老年医学会(理事)ほか

社会活動

日本学術会議 会員
社会福祉法人愛知県社会福祉協議会(理事)
公益財団法人長寿科学振興財団(理事)
あいち健康長寿産業クラスター
推進協議会(会長)ほか

- ◇月 日 平成24年7月5日(木)
 - ◇開 場 12:30
 - ◇開 演 13:30~15:00
 - ◇場 所 伏見ライフプラザ5F鯉城ホール
 - ◇入場無料 多数ご来場ください
- 要約筆記・手話通訳も準備

主催 名古屋市高年大学 鯉城会
お問い合わせ先 052-222-7521

